

ウラギンヒョウモン

Fabriciana adippe pallenscens



種名

分類

タテハチョウ科

形態

前翅長27～36mm。後翅裏面の外縁に沿う銀白紋は、三角形状。その内側にある褐色紋は楕円形で、前種よりも数が多い。♀は♂より大きく、翅表の地色が黄色をおびる。♂の前翅表に2本の発香鱗条がある。

分布

北海道、本州、四国、九州。

出現期

年1回の発生。6月から姿を現し、山地や寒冷地を除き、盛夏にはいなくなるが、付近の樹林内で少数の個体が見られることもある。9月より再び出現する。越冬態は卵(卵内初齢幼虫)、または1齢幼虫。

生態

草原、林縁の草地、河原などに棲み、活発に飛び回る。アザミ類やマツムシソウなどで吸蜜したり、地上で吸水する。

食樹

スミレ科のスミレ、タチツボスミレなど。

幼虫
(幼生期)

体長 40mm。頭部は茶褐色、胴部には棘状突起があり、地色は黒褐色。

出現時期

(月)

—

—

—

—

—

e

—

—

9

1

1.

—

その他

参考文献：検索入門 渡辺康之著 チョウ